



インタビュー

えことば うちだりんたろう  
「絵詞作家」内田麟太郎さん

# 本は面白く読むべし

3月7日、プリモホールゆとろぎで、市内在住の絵詞作家で詩人の内田麟太郎さんの講演会が行われました。

内田麟太郎さんといえば“言葉の魔術師”。絵本「さかさまライオン」や「がたごとがたごと」「ともだちや」シリーズなどで、ユーモラスでシュールな世界を展開し、子どもだけでなく大人の心も掴んでしまいます。

4月23日の子ども読書の日になんで、講演会とその後のインタビューから、内田さんのお話を紹介します。

【プロフィール】

1941年、福岡県大牟田市生まれ。絵詞作家、詩人、童話作家。19歳で上京し看板職人を経て、38歳頃から児童書の創作活動を開始。ナンセンス表現やダジャレを交えたシュールで独特な世界を展開している。『さかさまライオン（絵：長新太／童心社）』第9回えほんにっぽん賞、『うそつきのつき（絵：新井良二／文溪堂）』第46回小学館児童出版文化賞、『がたごとがたごと（絵：西村繁男／童心社）』第5回日本絵本賞、ほかにも『すやすやタヌキがねていたら』『ともだちえんやこーら』『ひとのみだ』が日本絵本賞を受賞するなど受賞作品多数。第55回児童文化功労賞、第39回巖谷小波文芸賞受賞。

※大牟田市動物園に「ともだちや絵本美術館」も設立された。



▲高校1年生の時。前列左端の学生帽の青年が麟太郎さん。確かに真面目な表情です。

問合せ プリモライブラリーはむら ☎ 554-2280

「あの話は、最初は童話として作ったけれど、長新太さんが『絵本の文章にしてください』って言うので、考えこんじゃった」  
いろいろな資料を読み込んで気付いたのが「映画のシナリオの『ト書き※』を参考にしたら、絵本の文章になるかもしれない」ということでした。  
「絵本って、言葉だけが自立したらダメなんだよね。絵と一体にならないと。歌もそう。言葉だけ良くても売れない。歌詞の『詞』はメロディと一体ということ。これを絵本に置き換える」と

「『絵詞』になる。もうこれは絵詞作家として道を切り拓かなくては、と思ったよ」  
絵詞作家の誕生です。  
「高校時代はずごく真面目で、同級生が周りで遊んでいても、一人黙々と本を読んでいた」と言う内田さん。今は面白い言葉を連発し笑いを巻き起こすユーモアたっぷりな人です。変わったきっかけを尋ねると  
「それまで信じていた思想が信じられなくなった時、自分が壊れたんだよね。一度壊れるともうなんだっていいじゃん、バカじゃん、という感じになったよ。人は一回壊れることが大事だね」  
「既成の枠を超えた自由な作風はそんなところから生まれたのでしょうか。高校時代の同級生は『あの麟太郎が人前で話して笑わせるなんて』と驚きを隠せないそうです。」

※ト書き：演劇などの脚本で、セリフ以外の、動作や演出などを指定する部分

講演会の様子から



◀講演会の後にはサイン会もありました。サインを待つ長い列ができていました。

日酔いがきつかけ?!  
看板描きから「絵詞作家」に

絵詞作家として活躍する内田麟太郎さん（85歳）は、詩人・内田博さんの長男として、福岡県で生まれました。詩人になるか絵描きになるか迷いながら上京、看板店に見習いとして住み込みました。休日は月に2日しかなく就業時間も不規則だったため、美術学校に通って本格的に美術を勉強することは難しく、看板描きで生計を立てながら、詩作に励みました。転機は36歳の時。飲めないお酒で二日酔いになり、そのまま脚立に上って作業していたら、脚立が倒れてけがをしました。  
「周りの人が寄ってたかって運んでくれたんだ



▲長新太さんと組んだ初めての作品「さかさまライオン」。自分の意志では動けないライオンの影。それが嫌で、とうとう…!

けど、運ばれたのは産科だった（笑）」と冗談めかしますが、退院後、重たい看板を扱っていることが難しくなりました。  
そこで、生活のために子ども向けの本を書くかと思いつきました。詩作で培った言葉のセンスを頼りに、ほかにあまり書いていない人のいない「ナンセンス」路線で行こうと決めました。しかし、内田さんのナンセンス童話はなかなか

Contents

P 1 ~ 4

子ども読書の日特集インタビュー  
絵詞作家 内田麟太郎さん

P 5 ~ 6

ミニ環境展／シリーズ環境を考える  
／市の事業者支援策

P 7 ~ 12

友愛訪問員4月改選／障害のある方へ  
各種手当・助成制度／お知らせします  
市の仕事／羽村市の土地区画整理事業  
／羽村市人事／PhotoNews

P 13 ~ 14

お知らせ

P 15 ~ 16

情報アラカルト

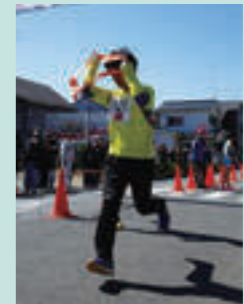
P 17 ~ 18

こそだて掲示板

裏表紙

低所得世帯等にエアコン設置支援/  
はい!こちら消費生活センター

表紙の写真 = 第44回羽村市駅伝大会 =



強風の中スタートした駅伝大会。どの選手もベストを尽くし、走り切りました。

撮影日 2026/3/8  
撮影場所 S&Dスポーツパーク富士見

【問合せ】羽村市秘書広報課  
〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1  
☎ 042-555-1111 ⑨ 336 FAX 042-554-2921  
URL = <https://www.city.hamura.tokyo.jp/>  
✉ s102000@city.hamura.tokyo.jp